



つなぐ



第13号

2013/10発行
地域医療連携室

木々の梢が日ごとに色づいてまいりましたがいいかがお過ごしでしょうか。

先月、2020年東京オリンピックの開催が決まり、日本中が歓喜に沸きました。オリンピック招致委員の皆さんがALL JAPANを掲げ招致活動を行っていた姿が印象的でした。連携室もALL市立病院で日々業務を遂行したいと思えます。

今回は、前号に引き続き各診療科紹介を掲載しましたのでご覧ください。また約1年ぶりに事例検討会も企画させていただきましたので、多くの皆様の参加をお待ちしております。



在宅推進フォーラム

おうちっていいよね

9月7日(土) 気仙沼プラザホテルで開催

病気があっても住み慣れた「我が家で」最期まで暮らし続けたいと希望したら、医療と介護の多職種が連携・協働して、願いや思いをかなえられるような在宅療養システムがあることを、地域住民に知ってもらう為、住民向け在宅療養推進フォーラム～おうちっていいよね～が開催されました。

村岡外科クリニック村岡正朗先生から、在宅医としての立場からの講演後、「住み慣れた我が家で暮らし続けるために」ということで、リレー形式でそれぞれの立場から事例を交えて話しました。保健師 小野寺育子氏・ケアマネジャー 小松治氏・福祉用具担当 三浦慶一氏・訪問看護師 千葉美由紀氏・歯科医師 金澤洋氏・薬剤師 武田雄高氏の皆さんと共に、地域医療連携室の阿部は、市立病院での退院支援の取り組みを紹介しました。在宅で最期を迎えるということは、家族への負担や今後の不安が大きいと思いますが、各々の職種の力を合わせれば在宅で最期を迎えるのも不可能ではないということが実際に話を聞いて感じました。



地域とのつながりで「自分らしく最期を迎えられる」そんな社会にしたいですね。

病院情報コーナー

外科の紹介

気仙沼市立病院 外科 嘱託医 新妻 展近

外科では、胃癌・大腸癌・食道癌・膵癌などの消化器疾患を中心に、乳腺・甲状腺疾患、腹部大動脈瘤などを代表とする血管疾患まで、ほぼすべての領域の外科手術を行っております。スタッフは現在常勤医8名で、そこに研修医が加わり、日夜診療に励んでいます。

今年は、これまで以上に腹腔鏡下での手術を取り入れるようになりました。胃癌・大腸癌においても適応と判断されれば積極的に腹腔鏡下手術を行い、治療効果を損なわない範囲で、可能な限り低侵襲な手術を目指しております。また乳癌手術においては、センチネルリンパ節生検を行うようになりました。症例によっては不要と考えられる腋窩リンパ節郭清を、慎重に適応を選びながら省略することで、術後合併症を極力回避することを目指しています。

治療にあたっては、必要に応じて外科スタッフのみならず、リハビリチーム、NST、緩和ケアチームとも密に連絡を取り合いながら、最良の医療を患者様に提供できるようにスタッフ一丸となって日々努力しております。癌治療においては、術前からリハビリチームに介入して頂き、術後の回復がよりスムーズに進むようになりました。

当科は東北大学第二外科の関連病院となっており、私自身は今年の4月から当科に赴任いたしました。まだ赴任して半年ではありますが、私たち同第二外科出身の医師にとっても、幅広い疾患を扱って熱心に治療にあたっている当科は、貴重な経験をさせて頂ける成長の場となっております。熱意あふれる研修医と共に働けることは上級医にとってもよい刺激となっており、医療に携わるスタッフ皆が切磋琢磨できる環境であると感じております。

このように、当科では新しい医療知識や技術を積極的に導入し、また若手医師の育成にも力をいれて、熱意をもって地域医療の向上に日々取り組んでおります、地域医療に関わる医療機関の皆様方には、これまで同様に、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。いつでも緊急手術ができる体制を整えておりますので、救急医療を含めて、何かお困りの症例がございましたらご相談ください。



整形外科の紹介

気仙沼市立病院 整形外科 科長 田中 正彦

整形外科は現在3名の常勤医とローテーションしてくれる若い研修医の先生で外来、病棟、手術をこなしています。我々の扱う疾患は腰痛や五十肩、高齢者の骨粗鬆症に関連した骨折、労働災害に伴う四肢の骨折、特に手の外傷などです。また、変形性膝関節症や変形性股関節症に対する人工関節手術も行っております。仙台への距離を感じる患者さんがいらっしゃいましたら当科でも手術を受けることができますので是非ご相談下さい。御存知のように気仙沼地区で整形領域の手術を行う施設は当院だけです。整形疾患は十分な機能回復を目指すとしリハビリには時間がかかることが多いですが、手術を行わない入院での保存療法や手術後の十分な期間のリハビリについては患者様のニーズに応えられず申し訳なく思っております。気仙沼地域の患者さんが仙台と同じレベルの医療が受けられるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



泌尿器科の紹介

気仙沼市立病院 泌尿器科 科長 折笠 一彦

泌尿器科は腎臓と尿管、膀胱、尿道などの尿路と、前立腺、精巣、陰茎などの生殖器の疾患が対象です。スタッフは常勤医3名で診察にあたっております。当院では泌尿器癌はもちろん、尿路感染や尿路結石、あるいは尿失禁、骨盤臓器脱などの生活の質に関わる病気にも積極的に取り組んできました。

泌尿器癌については前立腺、膀胱、腎摘出術など開腹手術だけでなく、腹腔鏡手術も行っております。前立腺生検により毎年70例前後の前立腺癌を摘出し、手術、放射線療法、内分泌療法により治療してきました。膀胱癌の内視鏡手術は毎年50例前後行っており、進行した膀胱癌に対しては、抗癌剤治療も積極的に行っています。

結石に対する内視鏡治療も年間20例前後行っています。

今後も仙台医療圏と同水準の治療を行い、地域住民の利益と地域医療の充実に貢献して参りたいと思います。



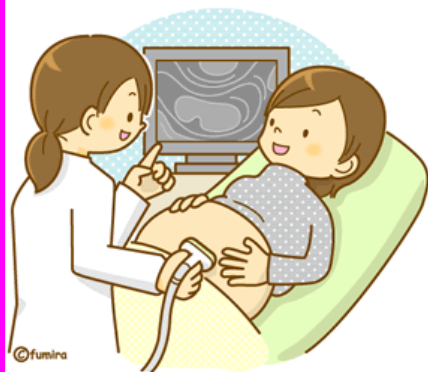
産婦人科の紹介 気仙沼市立病院 産婦人科 科長 松田 尚美

今年7月より赴任致しました産婦人科科長の松田尚美です。気仙沼に引っ越して3か月が経過したところです。いろいろな面で模索中ですが、何卒よろしくお願い致します。

震災後、気仙沼市で分娩を扱うのは当院のみとなったため、分娩制限なく昼夜問わず常勤医2名で地域の周産期医療をを担っております。胎児スクリーニングにも力をいれており、3D/4D超音波での診断も可能です。もちろん、周産期医療のみならず、婦人科手術も腹腔鏡・子宮鏡手術含め仙台医療圏と変わらぬ水準で行っていると自負しております。

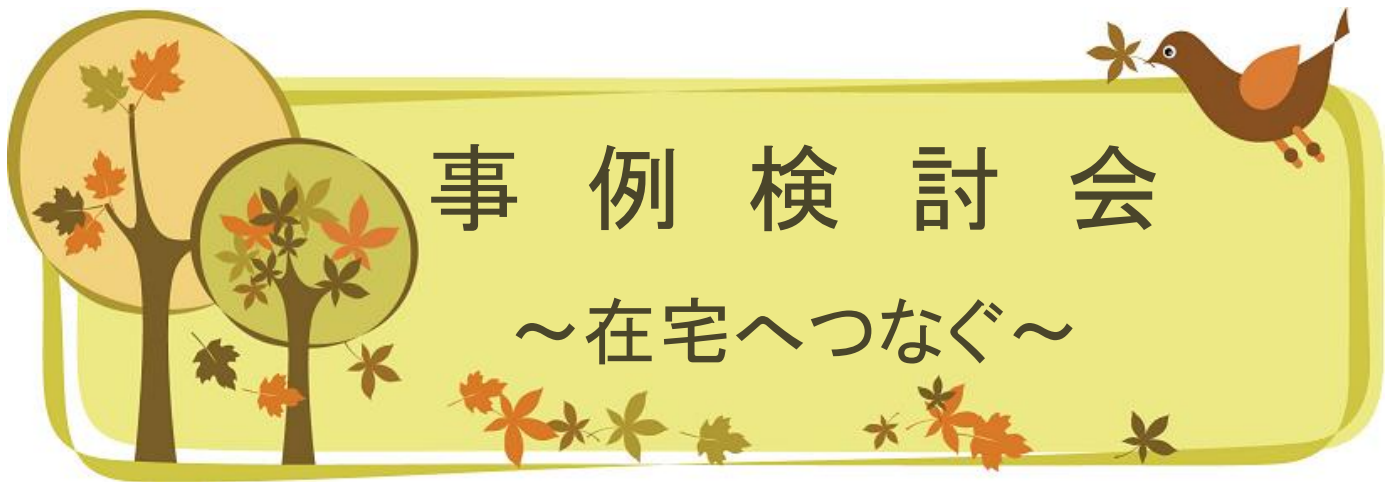
平成24年のデータですと、年間分娩数449件、手術件数192件、総入院患者数6905名、これを常勤医2名で行っております。分娩件数は平成22年349件、平成23年409件、平成24年449件と増加の一途を辿っております。

今後とも気仙沼地区の周産期医療を守っていきたいと考えておりますので何卒ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。婦人科手術もどんどんご紹介いただきたく、ご協力お願い申し上げます。



今回ご紹介しました、診療科の診察予定は以下の通りです。
受付時間 8:00~11:00までとなっております。

		月	火	水	木	金
外 科		横田 憲一	横田 憲一	大友 浩志	大友 浩志	横田 憲一
		大友 浩志	川嶋 和樹	横山 成邦	横山 成邦	横山 成邦
		新妻 展近	新妻 展近	川嶋 和樹	小坂 真吉	伊藤 想一
		小笠原 弘之	小坂 真吉	伊藤 想一		
整 形 外 科	新 患	洞口 潔	田中 正彦			伊東 健太郎
	再 来	田中 正彦	洞口 潔	田中 正彦	洞口 潔	田中 正彦
		伊東 健太郎	伊東 健太郎	伊東 健太郎	大学医師	洞口 潔
泌 尿 器 科		折笠 一彦	折笠 一彦	折笠 一彦	折笠 一彦	折笠 一彦
		江里口 智大	江里口 智大	江里口 智大	江里口 智大	木村 信吾
産 婦 人 科		松田 尚美	松田 尚美	松田 尚美	松田 尚美	松田 尚美
		城 怜史	城 怜史	城 怜史	城 怜史	城 怜史



日時:平成25年11月12日(火) 18時~

会場:気仙沼市立病院 4階会議室

上記日程で事例検討会を開催します。グループワークを行いますので、11月1日(金)までに、地域医療連携室までにFAXでお申し込みください。



【連絡先】

気仙沼市立病院 地域医療連携室
担当:阿部

TEL:0226-22-7100
FAX:0226-24-2328

事例検討会

～在宅へつなぐ～

FAX : 24-2328

TEL : 0226-22-7100(内線315)

事業所名 _____

参加者 名

職名	氏名	職名	氏名

11月1日(金)までに、FAXでお申し込みください。

気仙沼市立病院 地域医療連携室 担当:阿部